

『風と共に去りぬ』における黒人の呼称

林 由季子・武田 暎子

A Study of Different Ways of Referring to African Americans in *Gone With the Wind*

Yukiko HAYASHI and Eiko TAKEDA

1. はじめに

1-1 *Gone With the Wind* について

この小説は、マーガレット・ミッチェルによって書かれ、1936年にアメリカで出版された。舞台は南北戦争時代、アメリカ南部ジョージア州アトランタを中心に繰り広げられたドラマティックな小説である。

1-2 本論文の目的

この小説は1000ページを越える長編小説である。翻訳者大久保(1977)によると、出版と同時にたちまち人気を集め世界中にその名を轟かせた。

2001年5月に学生100名、及び社会人30名を対象にアンケート¹⁾を行った。その結果、この小説、また映画が「好き」という意見が70%、「好きではない」という意見が9%と「好き」という意見が圧倒的に上回った。しかし青木(1996)はこの小説を出版当時から今日に至るまで人種差別小説として捉える人もおり、特に黒人からの反発が多いと指摘している。その理由はいくつかあるがその一つに登場人物の黒人はほとんどが白人の奴隷であることや南部の黒人奴隷の歴史を美化しすぎている、ということがあげられる。

ところで差別には制度上のものと心理的なものがある。その心理的距離を示すものの一つに呼称がある。呼称は話者と聞き手の間の社会的関係を言語的に反映しているからである。これまでこの *Gone With the Wind* が黒人に差別小説として扱われているという事実を青木(1996)は述べたがその理由を呼称という観点から検証した研究は見当たらない。そこで本論文では黒人の呼称に焦点をしばり考察する。

2. 黒人の呼称の差別語

2-1 PC について

PC とは Political Correctness の頭文字をとったものである。辞書、差別用語を扱った本、アービング(1994)、リーズ(1996)などではこれを「政治的正義」と訳している。他には「政治的妥当性」、「政治的潔癖性」、「政治的矯正」などというような訳もある。では PC とは何かというと、人種、性別、年齢、貧富などについて差別的または不快感を与えると見なされる表現や

言葉を締め出すことである。青木（1996）によると米国では80年代に入ってからこのPC運動が盛んになり、例えばアメリカ大陸先住民は「アメリカン・インディアン」でなく「ネイティブ・アメリカン」と言うべきなど言葉の言い換えが求められている。簡単に言えばPCとは差別的でない、人を傷つけないような言葉を選ぶことである。このPCという概念はごく最近生まれたものなので、これからこのPCを利用して歴史的に黒人の呼称の変化を見ていくことは少し強引ではあるが、差別語か差別語ではないかをこのPCを利用して説明する。尚、以下の表1において「-PC」とはPCに反するという意味、つまり差別語であるということを示す。

2-2 黒人の呼称のPCに関する時代的变化

表1. 黒人の呼称のPCに関する時代的变化の表

黒人の呼称	南北戦争 (1861～1865)	小説出版前後 (1936)	現代
Nigger	—	—	—
Darky	+	—	—
Negro	+	+	—
Colored	+	+	—
Black	+	+	+*
Afro American		+	+
African American			+

表1は、縦には主な黒人の呼称、横には『風と共に去りぬ』の小説の舞台となってい南北戦争時代、小説出版前後、現代（70年代以降）を表す。例えばniggerの南北戦争時代を見ると、マイナスになっている。これはPCに反しているという意味で、南北戦争当時、niggerという黒人の呼称は差別語だったことを表示している。このデータはLee（1996）やGidding（1994）などを参考にし、更に公に出版された論文、雑誌、指導者の演説、団体名などを基に作った。その代表的なものを表2（次ページ）でまとめた。表1の時代に関しては小説が出版された1936年のものだけでなく、およそこの時代に近いもので判断した。表2のMartin Luther King Jr.の‘I have a dream’（1963）の演説では、黒人を指す場合negroを頻繁に使用している。つまり、この演説が行われた1963年にはnegroは差別語ではなく「+PC」だったと考える。そこで表1のnegroの小説出版時は+にした。Blackの現代を見ると+*になっている。これは例えば表2の‘Black is beautiful’（Garvey 1923）という言葉があるように、およそ良い場合に使われることが多いようであるが、黒人の中には肌の色で呼ばれることを嫌う人もいるので全くの+とはいえないことを示す。

表1では、第一にniggerは今も昔も変わらず差別的な言葉であること。第二にnegro、coloredは昔は差別的ではなかったが、現在は差別語とされており、そのかわりAfro American、African Americanという言葉が生まれたことが示されてる。つまり、南北戦争時代、小説出版前後、現代にわたるまで言葉の劣化によって呼称が言い換えられてきている。

3. 小説の問題点

ここではこの小説の中の黒人の描写と白人の黒人感が書かれている部分を挙げよう。

表2. 裏付けデータ

黒人の呼称	年代	小説、雑誌、論文、演説、団体名	
Nigger	1936	<i>Gone With the Wind</i> より	
Darky	1936	<i>Gone With the Wind</i> より	
Negro	1904	<i>Voice of the Negro</i>	
	1907	<i>Economic Cooperation among Negro Americans</i> (Du Bois)	
	1909	“Public Taxation and Negro Schools” (C.Coon)	
	1914	The United Negro Improvement Association (M.Garvey)	p.52
	1938	<i>The Negro College Graduate</i>	
	1963	I have a Dream: Washington March (M. Luther King Jr.)	* 80
Colored	1896	“The Opportunities and Responsibilities of Colored Women”	
	1909–11	Colored YWCA	
	1910	The National Association for the Advancement of Colored People	
	1927	<i>Who's Who in Colored America</i>	
	1930s	“Some Problems of Colored Women and Girls in the Urban Process”	
	1940	<i>A Colored Woman in a White World</i>	
Black	1903	<i>The Souls of Black Folk</i> (W.E.B. Du Bois)	p.44
	1923	Black is Beautiful (M.Garvey)	p.52
	1930s	Black Muslem (E.Muhammad)	p.75
	1964	the Ballot or the Bullet (Malcolm X; black)	* 90
	1966	We have got to... some Black Power (Stokely Carmichael)	
Afro American	1971	<i>The Work of Afro-American Woman</i>	
	1964	The Organization of Afro American Unity (Malcolm X)	p.78

p: Lee, George (1996) *: Gates, Jr., Henry & Mellie McKay (eds.) (1997).

無印: Giddings, Paula (1994) ()内: 著者、発話者、設立者

3-1 白人と黒人の描写の対比

スカーレットの場合を (1a) に示す。

- (1a) ... Her eyes were pale green without a touch of hazel, starred with bristly black lashes and slightly tilted at the ends. Above them, her thick black brows slanted upward, cutting a startling oblique line in her magnolia—white skin— that skin so prized by Southern women and so carefully guarded with bonnets, veils and mittens against hot Georgia suns.

(*Gone With the Wind* [以下 GWW]. 1936 : 3)

彼女の目は、茶のすこしもまじらない淡碧で、こわくて黒いまつ毛が、星のようにその周りをふちどり、それが目じりへきて心もちそりかえていた。その上に、黒くて濃い眉が、ややつりあがりぎみに、マグノリアの花のような白い肌に、あざやかな斜線をひいていた。——この肌は、南部の女たちがひどく大切に、ボンネットやヴェールや長手ぶくろなどで、ジョージアのはげしい日ざしから、じつに注意ぶかく守っているものだった。

(『風と共に去りぬ』 Vol. 1, 1977 : 5)

4行目の下線部 magnolia—white skin— はスカーレットの肌が木蓮、あるいは泰山木の花のように、白く美しいという意味である。この一文から、優雅で美しく描かれていることがわかる。

一方、スカーレットの黒人の乳母、マミーの描写を (1b) に示す。

- (1b) Mammy emerged from the hall, a huge old woman with the small, shrewd eyes of an elephant. She was shining black, pure African, devoted to her last drop of blood to the O'Hara's, Ellen's mainstay... (GWW: 22-23)

マミーがホールから出てきた。象のような小さな賢い目をした、からだの大きな老女だ。皮膚は黒びかりに光っている純粋のアフリカ土人で、最後の血の一滴までもオハラ家のためにささげる覚悟をしており、エレンのもっとも……

(『風と共に去りぬ』 Vol. 1, 1977: 40)

このように、黒人の描写は白人の描写とは異なり、動物的で侮辱的にまで感じられる。

3-2 白人の黒人感

以下は白人の黒人に対して抱いている感情が明白に現れている文である。

- (2a) How stupid negroes were! They never thought of anything unless they were told. (GWW: 409)

黒人って、なんてばかなんだろう！ 言いつけられなければ、なに一つ自分の頭で考えようとししないのだ。

(『風と共に去りぬ』 Vol. 2, 1977: 344)

- (2b) “Goodness, no! I wouldn't have one (= nigger) in my house. The idea!” (GWW: 671)

「とんでもない！ 黒ん坊を自分の家におくなんて、まっぴらだわ。冗談じゃありません。」

(『風と共に去りぬ』 Vol. 4, 1977: 113)

- (2c) “I never saw a nigger till I came South last month and I don't care if I never see another. They give me the creeps. I wouldn't trust one of them...” (GWW: 672)

「あたしは先月南部にくるまでは黒ん坊というものを一度も見ることがなかったわ。それに、もうこれ以上、見たいとも思わないわ。黒ん坊を見ると、あたしは、からだじゅうがむずむずしてくるんです。黒ん坊なんてひとりだって信用できないわ……」

(『風と共に去りぬ』 Vol. 4, 1977: 113)

- (2d) “Look at that old nigger swell up like a toad.” (GWW: 672)

「ごらんなさい、この黒ん坊のじいさん、まるで、ひきがえるのようにふくれているわ」

(『風と共に去りぬ』 Vol. 4, 1977: 113)

(2a) はスカーレットが、自分の思った通りに働かない黒人奴隷に腹を立てた時のセリフである。(2b) から (2d) は、戦争が終わりアトランタにたくさんの北部の人達が入ってきた時の北部の女がスカーレットとハミルトン家の侍僕のピーターへ向けて発した言葉である。これを知っていた侍僕のピーターは涙を流して嘆いた。それは白人に nigger と呼ばれ侮辱されたことにひどく傷ついた為である。

このように、ここから奴隷解放を掲げていた北部の白人でも黒人をひどく嫌う白人は nigger という差別語を使っていることが分かる。このことより nigger は一番悪い差別語であることが

言える。

3-3 呼称

この小説には大きく分けて表3のように12種類の黒人の呼称が使用されている。この表は *Gone With the Wind* において頻出度数の高い順番に黒人の呼称を左上から並べた。*A Dictionary of American English on Historical Principles* (1928) によると、Field hand は野良働きの negro、pickaninny は negro child、boy は negro slave をさし、この小説でも大人の黒人に向かって boy と呼んでいる。Wench は female negro slave、buck は male negro であるとある。他に ape も黒人を指して使われている。いずれも黒人に対する侮蔑的な言葉である。このようにこれらの黒人の描写、呼称が差別的だということが問題としてあげられる。

表3. 小説の中の黒人の呼称

呼 称			
negro	darky	nigger	slave
black	field hand	pickaninny	boy
wench	servants	ape	buck

4. データ

この表は先の表3 小説の中の黒人の呼称を使用した回数の多い方から上から下へ並べたものである。例えば一番上の negro を見るとその回数は201とあるが、これは小説のなかで negro という黒人の呼称を201回使用しているということを示している。そのとなりの割合はこの小説の中には633回の黒人の呼称を使用していて、633回中 negro が32%を占めていることを示している。そして、現在の PC の列を見るとマイナスとなっている。これは黒人に向けて使用された場合に PC が+か-かを示している。以上のように現代の PC に照らすと black 以外はどれも差別的な呼称であることになる。そして、黒人の差別的呼称の使用回数は実に633回も使われており、black を除いても575回も使用され、これは1.8ページに一度の割合で出現すること

表4. 呼称別回数と割合データ

呼称	回数	割合	現在の PC
negro(es)	201	32%	—
darky(es)	123	20%	—
nigger(s)	105	17%	—
slave(es)	71	11%	—
black(s)	58	9%	+
field hand(s)	35	5%	—
servants	10		—
pickaninny(es)	10		—
boy(s)	8		—
wench(es)	7		—
ape(s)	4		—
buck	1		—
合計	633		

になる。

表5 (次ページ) は、小説の中の誰がどんな黒人の呼称を何回使用したかを示したものである。左上から順に使用回数の多い登場人物を並べた。話者の人物に下線が引いてあるのは黒人の登場人物である。

まず第一に、一番黒人の呼称を多く使用しているのは左上の作者 Mitchell であるがこれは誰の発話でもない地の文を指す。この中には発話ではないが、誰かの心理描写も含んでいる。次に Scarlett、Mammy と続きこれを考察すると当時差別語とされていなかった negro は登場人物の発話ではあまり使われてなく、作者つまり地の文で黒人を言及する際に多く見ることができる。

第二に、作者の下で Scarlett の用いた呼称に注目してみよう。南部の白人、例えば Scarlett は彼女の母 Ellen からの教えで、「奴隷にはやさしくし、nigger と呼んではならない」とあるため、表を見るとわかるように黒人をさす場合、darky をよく使っていると言える。これは Scarlett に限らず表の右側上部の Ashley や Melanie にも同じことが言え、南部の黒人を大切にする白人は nigger ではなく darky を用いている。

また第三に、たとえば Mammy や Big Sam に見られるように nigger という当時差別語とされていた黒人の呼称は、黒人が黒人にむけて使用することがある。黒人である Mammy は house servant のトップである。上に位置する彼女は下の黒人を叱り、ののしるときにこの nigger を用いる。呼称により上下関係を示す事例に相当する。また黒人同士の連帯感を示す際、また白人との会話で自分たち黒人のことを nigger と呼ぶことが多くある。親疎感、上下関係をそれぞれ呼称により表している。

第四に注目したいのは表の右の上から二つ目の Archie、そこから下がって、Maine Woman (アメリカ北部の Maine 州の女性) だが、彼らはどちらも黒人を嫌い差別している立場の人である。そのため、黒人を指す場合差別語である nigger を頻繁に使用していることが分かる。従って、nigger という呼称の中に黒人に対する嫌悪感を読み取ることができる。

5. 結語

第一に、この小説には black を除いて11種類の [－PC] に相当する黒人の差別的呼称が使用され、その使用回数は575回である。つまり、1.8ページに一度の割合で出現することになる。そのため不快感を募らせ差別感を強める。第二に、その中でも nigger という一番ひどい黒人の呼称を17%使用している。第三に、黒人の間でも差別語を使い、白人との会話の中でも自分たちのことを nigger と呼び、卑下する表現が頻繁に見られる。しかし、これは親愛の情を込めて使われることもある。第四に、黒人差別意識を持っている人は、Archie のような南部の白人に限らず、北部の白人も特に侮蔑的な nigger を使用している。第五に、小説出版当時は差別語とされていなかった黒人の呼称が、現代では差別語とされている語があり、PC に照らすと、現代の方が差別を強く感じられる。つまり、現代この小説を読むと、黒人の呼称のほとんどが差別的で、不快感を持つ者も多くいるため、これを人種差別小説として捉える者もいることがわかる。

以上、5つの呼称という観点から、この小説が人種差別小説として扱われる理由を明らかにした。

表5. 話者別データ

話者	呼称	呼称別回数	合計回数	話者	呼称	呼称別回数	合計回数
作者 (Mitchell)	negro (es)	192	384	Stuart or Brent	darky (es)	8	12
	slave (s)	62			black	2	
	black (s)	40			boys	1	
	darky (es)	25			slave	1	
	nigger (s)	20		Archie	nigger (s)	9	9
	field hand (s)	19		Grandma Fortain	darky (es)	6	9
	servant (s)	10			black	1	
	pickaninny (es)	8			field hands	1	
	wench	2			wenches	1	
	niggery	2		Ashley	darky (es)	7	8
	ape	1			negroes	1	
	boy	1		Melanie	darkies	5	8
	negroid	1			negroes	1	
	slavery	1			pickaninnies	1	
					slave	1	
Scarlett	darky (es)	36	59	Aunt Pitty	darky (es)	5	7
	field hand (s)	7			negro (es)	2	
	nigger (s)	6		Maine woman	nigger (s)	5	7
	boys	4			black	1	
	slaves	2			naygurs	1	
	apes	1		<u>Jeems</u>	niggers	4	5
	black	1			fe'el han'	1	
	buck	1		<u>Peter</u>	nigger (s)	4	5
wench	1	pickaninny	1				
<u>Mammy</u>	nigger (s)	14	23	<u>Pork</u>	nigger (s)	2	3
	black	4			fe'el han'	1	
	fe'el han'	3		Gerald	darky (es)	3	4
	ape	1			wench	1	
	ex-slave	1					
Frank	darky (es)	8	18	Mrs. Tarleton	darkies	3	4
	black	4			niggers	1	
	nigger (s)	4		<u>Prissy</u>	nigger (s)	4	4
	ape	1		Rene	slaves	2	3
	negroes	1			darkies	1	
Rhett	darkies	6	17	Will	nigger (s)	3	3
	nigger (s)	5		Ellen	darkies	2	2
	black	3		<u>Dilcey</u>	nigger (s)	2	2
	negroes	1		Charles	darky	1	1
	farm hand	1		その他	nigger (s)	8	19
	wench	1			darky (es)	7	
<u>Big Sam</u>	nigger (s)	11	14		negroes	2	
	fe'el han'	2		boy (s)	2		
	wenches	1					

6. 今後の研究課題について

この論文は2001年6月にJacet中部支部大会で口頭発表を行ったものを加筆修正したものである。この小説を原本“*Gone With the Wind*”で読むと、呼称の観点から見て容易にこの小説が差別的であると感じることができる。しかし、日本語に翻訳した場合、黒人の呼称だけから見ると、差別的であるということを読み取ることは困難になる。今後、その理由を原本と翻訳とを比較し考察していく予定である。

注

- 1) アンケートは2001年5月に、名古屋女子大学の学生、教員、また主婦を中心に行った。アンケートの内容と結果を参考資料として添付する。

参考文献

I. 第一次資料

Mitchell, Margaret (1936) *Gone With the Wind*. Warner Books, New York, NY.

II. 第二次資料

アービング, ルイス・アレン (1994) 岩崎裕保監訳『アメリカの蔑視語』明石書店、東京

青木富貴子 (1996) 『「風と共に去りぬ」のアメリカ』岩波新書、東京

内野正幸 (1990) 『差別的表現』有斐閣、東京

ウッドワード, C・V、清水博・長田富臣・有賀貞訳 (1998) 『アメリカ人種差別の歴史』福村出版、東京

大久保康雄・竹内道之助訳 (1977) 『風と共に去りぬ』(1)～(5)、新潮文庫、東京

大島良行 (1996) 『「風と共に去りぬ」の女たち』専修大学出版局、東京

大塚秀之 (1982) 『アメリカ合衆国史と人種差別』大月書店、東京

シーガル, ロナルド、富田虎男訳 (1999) 『ブラック・ディアスポラ』明石書店、東京

塩見鮮一郎 (1995) 『差別語と近代差別の解明』明石書店、東京

スタンプ, ケネス・M (1980) 『アメリカ南部の奴隷制』彩流社、東京

高橋正雄 (1987) 『アメリカ南部の作家たち』南雲堂、東京

高橋みな子 (1995) 『英語の呼称』近代文藝社、東京

新保満 (1972) 『人種的差別と偏見』岩波書店、東京

バーダマン, ジェームス・M、バーダマン・倫子 (1997) 『アメリカ日常生活のマナーQ & A』講談社インターナショナル、東京

パウム, フランク・タネン、小山起功訳 (1980) 『アメリカ圏の黒人奴隷』彩光社、東京

福田陸太郎 (1980) 『アメリカ女流作家群像』駸々堂出版、東京

フランクリン, ジョン・ポープ、井出義光、木内信敬、猿谷要、中川文雄 (1978) 『アメリカ黒人の歴史』研究社出版、東京

本田創造 (1991) 『アメリカ黒人の歴史』岩波新書、東京

メンミ, アルベール、菊池昌実、白井成雄 (1996) 『人種差別』法政大学出版局、東京

ラッセル, ジョン・G (1995) 『偏見と差別はどのようにつくられるか——黒人差別・反ユダヤ意識を中心に』明石書店、東京

リーズ, ナイジェル、脇浜義明訳 (1996) 『差別語・婉曲語を知る英語辞典』明石書店、東京

ルイス, ヴィッキー・L & キャロル, デュボイス編、和泉邦子、勝方恵子、佐々木孝弘、松本裕子 (1997) 『差異に生きる姉妹たち』世織書房、東京

Gates, Jr., Henry & Nellie McKay (eds.) (1997) *The Norton Anthology, African American Literature*. Norton, New York, NY.

『風と共に去りぬ』における黒人の呼称

Giddings, Paula (1994) “The Last Taboo”, *Unequal Sisters: A Multicultural Reader In U.S. Women’s History*, Routledge.
Haley, Alex (1976) *Roots*. Dell Publishing Co, New York, NY.
Lee, George (1996) *The African-American History and Experience*. 弓プレス、東京
Walker, Alice (1982) *The Color Purple*, Washington Aquare Press, New York, NY.
Wright, Richard (1941) *12 Million Black Voices*, Mouth Press, New York, NY.

辞書

『新和英大辞典』（1980）研究社、東京
A Dictionary of American English on Historical Principles. (1938) The University of Chicago Press.
The New Shorter Oxford English Dictionary, volume II.
The Penguin Dictionary of Historical Slang (1937) Penguin Books Ltd, New York, NY.

参考資料①

アンケート

私たちは『風と共に去りぬ』における黒人の呼称』について研究しています。アンケートにご協力をお願いします。

あなたの年代 (10代・20代・30代・40代以上)
あなたの性別 (女・男)
あなたの国籍 (日本・その他 _____)
あなたの母国語 (日本語・その他 _____)

A-1. あなたはマーガレット・ミッチェル著『風と共に去りぬ』を読んだことがありますか？

はい いいえ (→B-1からお答えください。)

A-2. この小説をいつ頃読みましたか？

小学生 中学生 高校生 大学生 社会人 その他 ()

A-3. この小説を何語で読みましたか？

英語 (原本) 日本語 (翻訳本) その他の翻訳本 (語)

A-4. この小説が好きですか？ 1つ選んで数字に○をつけて下さい。

5 4 3 2 1
| | | | |
とても好き 好き 普通 あまり好きではない 好きではない
その理由をあげて下さい。

()

A-5. この小説でも黒人の扱い、描写、呼称について何か感じたことはありますか？

()

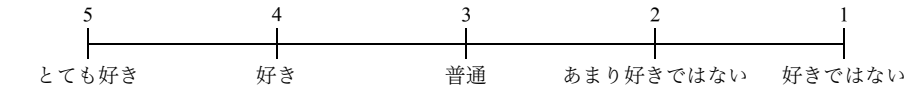
B-1. 映画『風と共に去りぬ』を観たことがありますか？

はい いいえ (→C-1からお答えください。)

B-2. この映画をいつ頃観ましたか？

小学生 中学生 高校生 大学生 社会人 その他 ()

B-3. この映画が好きですか? 1つ選んで数字に○をつけて下さい。



その理由をあげて下さい。

()

B-4. この映画での黒人の扱い、描写、呼称について何か感じたことはありますか?

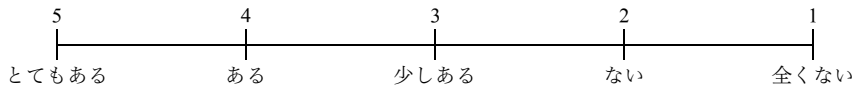
()

次はD-1からお答え下さい。

C-1. 『風と共に去りぬ』という小説についてどの程度知っていますか?

- a. あらすじを知っている程度 b. この小説があることを知っている程度
c. 全く知らない d. その他 ()

D-1. 黒人問題について関心がありますか?



D-3. 黒人問題(差別)についてどんなことを知っていますか?

()

D-4. この『風と共に去りぬ』が黒人にとって人種差別小説として捉えられていることをあなたは知っていますか?

はい いいえ

D-5. あなたはこの小説を黒人差別小説だと思ったことがありますか?

はい いいえ

D-6. なぜこの小説が差別小説として扱われると思いますか?

()

D-7. 以下の黒人の呼称を差別的だと思う順に番号をつけてください。

() 黒人 () 奴隷 () くらんぼ(黒ん坊、黒奴) () 黒猿

D-8. 黒人の蔑称を他に知っていればあげて下さい。

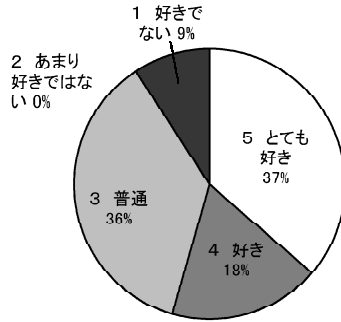
()

参考資料②

アンケート集計結果

※紙幅の都合上集計結果は一部割愛する

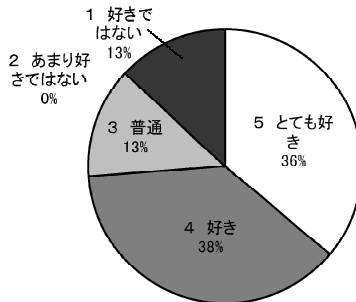
A-4. この小説が好きですか？



A-5. この小説での黒人の扱い、描写、呼称について何か感じたことはありますか？

- ・ 英文で読むと呼称も描写も差別的に思える。日本語ではあまり感じられない。
- ・ 従属的だが主人公との結びつきの強い人物が出てきたこと。
- ・ あまり感じなかった。
- ・ 白人と黒人の人間関係、地位の差はあっても人間愛は感じた。
- ・ 黒人の扱いがひどい。
- ・ 時代、社会、著者の教養などが叙実に見れていると思う。

B-3. この映画が好きですか？



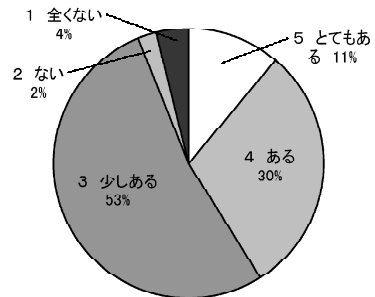
B-4. この映画での黒人の扱い、描写、呼称について何か感じたことはありますか？

- ・ 南部での黒人の社会的地位の低さを感じた。
- ・ 差別としては当時はあまり気にして観ていなかった。
- ・ 歴史的事実とはいえ不愉快。
- ・ スカーレットの黒人に対する態度にはとても厳し

いものがある。

- ・ 特に感じなかった。
- ・ 乳母のマミーがとても大切な良い役を果たしていると感じた。

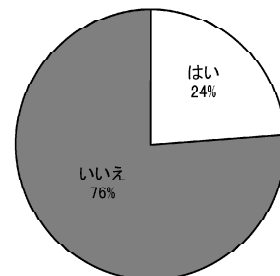
D-1. 黒人問題について関心がありますか？



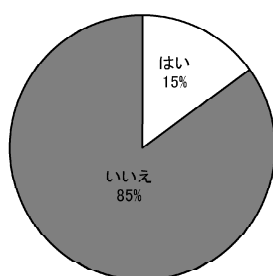
D-3. 黒人問題（差別）についてどんなことを知っていますか？

- ・ 住地域、職選択の時の差別
- ・ 結婚や職業
- ・ 「ちびくろサンボ」の話
- ・ 黒人への警官の暴力
- ・ アパルトヘイト
- ・ キング牧師の活躍。黒人が黒人の教育のために創設した大学の存在。
- ・ スポーツ観戦等座る場所を分けられたり、黒人は観にくい場所にしか座れない。

D-4. この『風と共に去りぬ』が黒人にとって人種差別小説として捉えられていることをあなたは知っていますか？



D-5. あなたはこの小説を黒人差別小説だと思ったことがありますか？



D-6. なぜこの小説が差別小説として扱われると思いますか？

- ・ 階級がはっきりしすぎているため。
- ・ 南北戦争を背景としているから。
- ・ 黒人の描写、扱いが悪いから。
- ・ 白人がいつも優位な立場で描かれているから。
- ・ 言葉の使い方。
- ・ 奴隷制度が描かれているし、その制度を守ろうとする南部が舞台になっているから。
- ・ 黒人を完全に奴隷として扱っているから。